

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E112E007	国文学概論 (Introduction to Japanese Classical Literature)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用	前期		氏名 安道 百合子 E-mail y-andou@oita-u.ac.jp 内線 7535											
授業の概要	古典文学作品を題材として、毎回テーマを決めて講義を行う。小・中学校の教科書にも採録される古典教材を切り口に、作品の性質や、文学史的位置づけを含めて、読解、鑑賞する。作品本文を確認したり作者を想定したりする手続きを知り、伝本による違いや出典による性格の違いなどを気にとめて、作品本文の読解や鑑賞ができるようになることを目指す。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	古典文学を読む手続きを知り、自分なりに解釈、鑑賞して説明できる。																
目標2	古典文学と現代文化とを関係づけて比較したり紹介したりできる。																
目標3	異なる解釈を比較して、批評し、自分なりの解釈を説明できる。																
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	時代と作品、どのくらい説明できますか？																
2	千年前の作品をなぜ読めるのか。紀貫之と藤原定家。																
3	『古今集』の歌、『新古今集』の歌。																
4	伝えるということー写本・版本・活字本																
5	『竹取物語』ー文法がわかると物語が生き生きとする																
6	『竹取物語』ーファンタジーの舞台裏																
7	オモテとウラの話ー『伊勢物語』と『大和物語』																
8	『伊勢物語』二条后章段																
9	かきつばたー和歌の工夫と文化芸術																
10	真実はどれだ？ ある日の道綱母と兼家の対話																
11	「春はあけぼの」の季節観																
12	『枕草子』の類聚章段																
13	『無名草子』の価値観一月には何が見えるのか																
14	災害文学としての『方丈記』																
15	『方丈記』に学ぶ最先端の知恵																
ラ ッ ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	毎回テーマを定め、学生同士で意見交換をしたり、小レポートを課します。	工 夫 そ の 他 の	な し													
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	次回予定に基づいて、本文の読解を行なう。古語辞典を引き、文法的に説明できるようにして、現代語訳をするなどの予習を行なう(30h)。															
	事後学修	授業内で扱った題材に関連する書籍を読んで、興味関心を広げる(30h)。															
教科書	『高校生からの古典読本』(平凡社、2012)																
参考書	適宜紹介する。必要に応じて資料を配布する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業中の発言	10%															
	授業時後の小レポート	30%															
	期末レポート	60%															
注意事項																	
備考																	
リンク	URL																